

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
常滑市	小倉宮山石瀬西之口地区(小倉区、宮山区、石瀬区、西之口区)	令和3年3月31日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	170.7ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	103.1ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	20.4ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	2.3ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	15.3ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3.9ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<p>○人に関すること 定年退職後に就農する農家が多く高齢化が進んでいる。また、職業として農業を選ばなくなっており後継者がいない農家が増えていることから、担い手の不足や遊休農地の増加が懸念される。 石瀬区では水田の担い手が1人しかいない。</p> <p>○農地に関すること 農地を手放したい人は多いが、面積が小さかったり形状が悪い場所が多く、集約が難しい。</p> <p>○その他 農家の所得がサラリーマン並になかなかならず、投資に踏み込めず機械化が遅れている。</p>

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

宮山区の農地利用について、水田は4中心経営体、畑は10中心経営体が担う。
石瀬区の農地利用について、現状の水田畑ともに1中心経営体しかおらず、入作者や新規就農者の受入れを推進する。
小倉区の農地利用について、田は9中心経営体、畑は4中心経営体が担う。
西之口区の農地利用について、畑を4中心経営体が担う。
全地区において、あいち知多農業協同組合が長年に渡って計画的に集積・集約化を進めてきており、引き続きあいち知多農業協同組合を中心に地元や行政が連携して中心経営体への集積・集約化を推進する。

(参考) 中心経営体

属性		中心経営体数	経営面積	
			現状	今後の農地の 引受意向
認定農業者	個人	12	30.3 ha	31.4 ha
	法人	2	15.5 ha	18.3 ha
基本構想到達者	個人	6	8.7 ha	8.7 ha
	法人	1	1.2 ha	1.2 ha
その他	個人	0	0 ha	0 ha
	法人	0	0 ha	0 ha
計		21	55.7 ha	59.6 ha

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農地の貸付け等の意向

貸付け等の意向が確認された農地は、245筆、176,648㎡となっている。

農地中間管理機構の活用方針

農地中間管理機構を活用するため、高齢化等により農業をリタイヤする農業者の情報を収集し、出し手と担い手のマッチングを積極的に行う。

新規・特産化作物の導入方針

アグリ常滑営農支援機構において推奨される品目の栽培を検討する。

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

	農地の所在(地番)	貸付け等の区分(㎡)		
		貸付け	作業委託	売渡
1	宮山区	33,891	0	18,396
2	石瀬区	42,603	0	16,089
3	小倉区	59,360	0	35,627
4	西之口区	515	0	0
	計	136,369	0	70,112